

<p><b>8月21日(土)</b> 開演 14時 (開場 13時30分) レセプションホール</p>	<p><b>奈良フィルサロンコンサートVol.88 音楽の土曜日 ～情熱と祈り～</b> 出演＝南條聖子(Vn)、小林里佳(Pf) 曲目＝四季op.8-2「夏」(ヴィヴァルディ)、アンダルシアのロマンス op.22-1(サラサーテ) ほか <b>全席自由</b> 2,500円 (お茶・ケーキ付き)</p>	<p>▼チケットは、やまと郡山城ホールで発売中。</p>
<p><b>9月23日(木・祝)</b> 開演 14時 (開場 13時30分) 大ホール</p>	<p><b>やまと郡山城ホール混声合唱団 第2回定期演奏会</b> 出演＝やまと郡山城ホール混声合唱団 指揮＝小林正夫 ピアノ＝小林かずみ フリーデンコール(賛助出演) 曲目＝風に寄せて そのI、Salve Regina、歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より「主よ、よみがえりたまえ」 ほか <b>全席自由</b> 1,000円</p>	<p>▼チケットは、やまと郡山城ホールで発売中。</p>
<p><b>10月30日(土)</b> 開演 17時 (開場 16時30分) 大ホール</p>	<p><b>やまと郡山城ホール10th Anniversary 松本真理子ファミリーコンサート '10 『そして、チャレンジ』～松本真理子プロ活動40周年記念コンサート～</b> 出演＝松本真理子(マリンバ)、植村伸子(ピアノ)、飯田憲司(サクソ)、 大江可奈子(マリンバ)、マリンバアンサンブル“テトラ” ほか 曲目＝イングス、わらべうた春秋、スクエアダンス、 マリンバスピリチュアル ほか <b>全席自由</b> 前売り2,500円 (当日3,000円)</p>	<p>▼チケットは、やまと郡山城ホール、ローソンチケット、e+で発売中。</p>
<p><b>10月31日(日)</b> 開演 15時 (開場 14時) 大ホール</p>	<p><b>やまと郡山城ホール10th Anniversary 桂三枝第十回創作落語独演会</b> 出演＝桂三枝 ほか 演目＝当日のお楽しみ <b>全席指定</b> 前売り3,500円 (当日4,000円)</p>	<p>▼チケットはやまと郡山城ホール<sup>Ⓜ</sup>で発売中。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。</p>



やまと郡山城ホール 開館時間 9時～21時30分(受付は20時まで)  
※チケット発売<sup>Ⓜ</sup>とあるのは 電子チケットぴあ 0570-02-9999、ローソンチケット 0570-00-0777、e+ (<http://eplus.jp/>) です。

**市長てくてく城下町 ⑦**

**「ワールドカップと金魚」**

大和郡市長 上田 清

ここに大正4(1915)年2月22日から3月12日にかけて奈良新聞に掲載された記事『郡山の名所』(其一～十六)のコピーがあります。一昨年、ある方から何かの参考にといただいたものですが、各地域の名所旧跡だけでなく、それらにまつわるさまざまな物語とともに、郡山に縁のある武士や芸術家などユニークな人物も数多く描かれていて、読みごたえのある特集となっていますので、四苦八苦しながらワープロで打ち換え、観光協会などにお渡しをしました。

当然のことながら、金魚に関する記事もあり、「金魚池四万幾千坪」と題する3月9日の記事には、明治37(1904)年、アメリカのセントルイスで開催される博覧会に金魚を出品しようと、神戸港で汽船「安芸丸」を予約し、出航を待っていたところ、日露戦争が勃発し、同船は軍用船に転用されたため、

残念ながら中止せざるを得なかったというエピソードが紹介されています。

そうしたなか、今度は金魚に関する昭和5(1930)年の新聞記事を職員が発見。新聞名は不明ですが、その内容にびっくりしました。

というのは『ダーバン市から金魚の注文来る』という表題がまず目に飛び込んできたからです。

そう、今年のサッカー南アフリカWカップのメイン会場が置かれたのがまさにそのダーバンではありませんか！記事によれば、すでに南北アメリカやヨーロッパ、オーストラリアに進出していた郡山金魚は初めてアフリカにも進出。輸送には何と「四十八日を要し」ということですが、寄港地に休息用の池を作った例もあるそうです。

さて、南アフリカでは、今も金魚が飼われているのでしょうか・・・。